

とやま生協 環境・サステナビリティ政策

みんな 地域でつくる、とやまの未来

とやま生協は、2030年ビジョンに基づき、持続可能な循環型社会を目指し、組合員・地域社会とともに本政策に取り組めます。

- 1** エシカル消費に対応した商品を拡大・普及させ、エシカル消費に共感できる消費者を社会の中に増やしていきます。
エシカル消費対応商品を拡大・普及します。また、エシカル消費を推進し、一人ひとりの消費行動が誰かの笑顔につながっていることを意識できる組合員を増やします。
- 2** 生協事業のサプライチェーン全体と、組合員の生活における温室効果ガス排出削減に取り組めます。
CO2排出量を2030年に2013年度比で40%削減します。
- 3** 再生可能エネルギーの開発を通して日本における再エネ導入量を増加させるとともに、持続可能な地域づくりに貢献します。
太陽光・小水力等の再生可能エネルギーの開発をすすめます。(2030年までに年間発電量約160万kWh)
- 4** 生協事業で使用するプラスチック製容器包装と紙を削減します。また、持続可能な原材料への切り替えを進めます。
商品包材は再生プラ、バイオプラを使用することで、使い捨てプラ容器の使用量を削減します。不要なカタログ停止を推進し、商品カタログの配布量を削減します。
- 5** 生協事業から排出される容器包装等の回収・リサイクルを、組合員とともに推進します。
回収品目の拡大などでリサイクルを推進し、組合員とともにリサイクル活動に取り組めます。
- 6** 生協事業ならびに組合員家庭から生じる食品廃棄物・食品ロスの削減を進めます。
食品廃棄物を2022年度比で50%削減します。
- 7** サプライチェーンを通して、人権を尊重し環境に配慮した「責任ある調達」を進めます。
生産者の顔が見える産直商品の拡大普及と、地域循環型経済を目指して農業に取り組めます。
- 8** 組合員とともに環境保全活動を推進し、自然共生社会の実現を目指します。
組合員とともに、自治体や地域の団体等と連携し、環境教育の実施や森づくりなどの環境保全活動を行います。
- 9** 環境・サステナビリティに関する諸課題を解決するために、新たな協働の取り組みにチャレンジします。
自治体をはじめ、企業や地域の団体と協力し環境課題解決のための取り組みに挑戦します。
- 10** 生協の環境・サステナビリティに関わる取り組み状況を積極的に公開し、社会との対話を進めます。
本政策の数値目標や進捗状況を積極的に公開し、生協の取り組みを「見える化」します。また、組合員や県民、地域社会との対話や意見交換を進めます。